

# 平成24年度病害虫発生予報第7号

平成24年10月1日  
愛知 県

## 作物

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	カメムシ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±

### ・留意事項

カメムシ類はダイズ莢の肥大期まで加害し続けるので、今後も注意が必要です。なお、ミナミアオカメムシが優占種のほ場があります。本種の幼虫はテントウムシと間違えることがあるので、注意して観察してください。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	多い	全域	9月下旬の発生量は多い 10月の降水量はやや多い	+ +
ウンシュウミカン カキ	カメムシ類	少ない	全域	9月下旬のカキにおける被害果率は低い 予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数は少ない	- -

### ・防除対策

#### [ナシ・黒星病]

落葉は伝染源となるため適切に処分しましょう。また、10月から11月はりん片への感染が多くなるので、来年に備えオキシラン水和剤やICボルドー48Qなどで秋季防除をしましょう。

### ・留意事項

モモせん孔細菌病の発生量が多いほ場があります。来年の伝染源を減らすため、秋季防除を徹底し、罹病枝は剪定して取り除きましょう。

予察灯およびフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は少なく推移しており、カキ園などへの飛来は今後も少ないでしょう。

## 野菜

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	葉かび病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	やや多い	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数はやや多い	+
	黄化葉巻病	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い 黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数はやや多い	++
トマト (施設) ナス (施設)	ハモグリバエ類	平年並	全域	9月下旬のトマト(施設)での発生量は平年並	±
ナス (施設) キュウリ (施設)	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	9月下旬のハウレンソウでの発生量はやや多い	+
ハクサイ キャベツ	コナガ	やや少ない	全域	9月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	- -
ハクサイ	べと病	平年並	全域	9月下旬現在発生を確認していない(平年並)	±
	アブラムシ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
キャベツ	黒腐病	やや多い	全域	9月下旬の発生量は平年並 台風17号で強風を伴う降雨があった	± +
	オオタバコガ	やや多い	東三河地域	9月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	++
ハウレンソウ	モザイク病	平年並	全域	9月下旬のアブラムシ類の発生量は平年並	±
	アブラムシ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ハウレンソウ	シロオビノメイガ	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	平年並	全域	9月下旬の発生量は少ない 10月の気温はやや高い 10月の降水量はやや多い	- + +
	ハダニ類	やや多い	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温はやや高い	± +
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	全域	9月下旬のキャベツにおける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	- ±

・防除対策

〔トマト(施設)・コナジラミ類、黄化葉巻病〕

9月3日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参照してください。

〔ナス(施設)、キュウリ(施設)、ハウレンソウ・ミナミキイロアザミウマ〕

ナス(施設)では、プレオフロアブル、キュウリ(施設)では、ダントツ水溶剤、ハウレンソウでは、パダンSG水溶剤などで防除しましょう。

〔キャベツ・黒腐病〕

カスミンボルドーやキノンドーフロアブルなどで防除しましょう。銅水和剤(無機)を用いる場合、炭酸カルシウム水和剤(クレフノンなど)を加用し薬害を防止しましょう。

〔キャベツ・オオタバコガ〕

9月3日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参照してください。

〔ハウレンソウ・シロオビノメイガ〕

カスケード乳剤で防除しましょう。

〔イチゴ(施設)・ハダニ類〕

サンマイトフロアブル、バロックフロアブルなどで防除しましょう。なお、訪花昆虫や天敵への影響日数に注意してください。

・留意事項

イチゴでは、炭疽病の発病株を見つけたら抜き取り、適切に処分しましょう。特に台風17号で雨水に浸かったほ場では注意しましょう。

アブラナ科野菜では、台風17号の影響で今後、黒腐病など細菌性の病害が発生するおそれがあります。早めに防除しましょう。また、キャベツほ場に設置したフェロモントラップにおけるオオタバコガ、シロイチモジヨトウの誘殺数が、やや多い状況です。結球部への食入後は防除が困難になるため、ほ場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

## 花き

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
	ハスモンヨト ウ	やや少ない	全域	9月下旬のダイズやキャベツに おける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	- ±
	オオタバコガ	平年並	全域	9月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘 殺数はやや少ない	+ -

### ・ 防除対策

#### 〔キク（露地）・ミナミキイロアザミウマ〕

ダントツ水溶剤やハチハチ乳剤などで防除しましょう。

### ・ 留意事項

キクほ場に設置したフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、やや少ない状況ですが、ほ場での発生量はやや多い状況です。例年、10月は最も発生量が多くなるので、天候次第では急増するおそれがあります。特に、着蕾期以降に食害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょう。

### 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台9月28日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

東海地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、多い確率50%です。

週別の気温は、1週目は高い確率60%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：20% 平年並：40% 高い：40%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：30% 多い：50%

〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

#### 「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースの洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。